

報道関係者各位

9/30（金）に長野県諏訪市と県内初となる 「プラスチックごみ削減と脱炭素社会実現に係る連携協定」を締結

水道直結ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下当社）は、2022年9月30日（金）に長野県諏訪市（市長：金子ゆかり）と「プラスチックごみ削減と脱炭素社会実現に係る連携協定」を締結したことをお知らせいたします。



▲（左より）諏訪市長 金子ゆかり様、ウォータースタンド株式会社取締役東海支社支社長 福嶋友宣

■諏訪市長 金子ゆかり様 コメント

諏訪市は今年3月、本市の環境への影響が考えられる全ての活動に関する最上位計画となる、第三次諏訪市環境基本計画を策定するとともに、市民、事業者、行政が力を合わせて脱炭素社会実現に向けた取組を進めていくという決意をゼロカーボンシティ宣言により表明しました。

宣言では、再エネの利活用、緑化推進、ライフスタイルの変革、気候変動に備えたまちづくり、循環型社会の実現という取組を示しており、それぞれが脱炭素社会実現へつながるものとなっています。その中で、循環型社会実現について考えると、プラスチックごみの削減や適正処理が必要です。しかしながら、全てのプラスチック製品が適正な処理をされているかというところではありません。近年、プラスチック製品が細かくなりながら海に流出し、生態系等に影響を及ぼす海洋プラスチックが世界的に問題視されています。

海洋といっても、元は陸地から流れていくものです。そこには諏訪市、諏訪湖も含まれます。私も、諏訪湖畔の清掃活動に参加していますが、細かくなったプラスチックがごみとなり湖岸に打ち上げられているという事実を目の当たりにしています。そんな背景から、自然に恵まれた高原湖畔都市から、海洋プラスチックを生み出さないことが必要だと以前より思っていました。

そんな中、ウォータースタンド株式会社から、この思いの実現につながる連携協定の提案があり、本日の協定締結に至りました。この協定を基に行う第一歩が、給水スポットの設置です。マイボトル活動の普及と共に、意識醸成を進めることが狙いとなります。ゼロカーボンシティ宣言にもありますが、関係者が力を合わせる、協働して取り組む事例ともなります。

給水スポットを設置するという一歩が、市民、事業者、観光客、行政という全ての関係者の意識変革につながり、関係者一人一人の取組の積み重ねがプラスチックごみの削減を実現、結果として脱炭素社会の実現と諏訪市というブランド価値、魅力の向上につながることを期待しています。

■協定の概要

諏訪市は、2022(令和4)年度から2031(令和13)年度までの10年間を計画期間とする「第三次諏訪市環境基本計画」を策定し、将来の環境の姿「うつくしい湖 あふれる緑 小鳥うたうまち 文化の香り高く いきいきと やさしいまち」の実現に向け取り組みを推進されています。

同計画では、脱炭素社会の実現や、ごみを減らし資源循環型の社会への転換、環境について学ぶことでより良い諏訪市の環境づくりに取り組むといった5つの基本目標が策定されています。

諏訪市と当社は、プラスチックごみ削減と脱炭素社会の実現に向け、互いの連携・協力の下、市内施設に給水環境を整備しマイボトルの利用促進を図るため、協定を締結いたします。マイボトルへの給水が可能なウォータースタンドを市内施設に設置し、リユース可能な容器を活用することを通じて地球環境に配慮した活動の拡大を図って参ります。

■諏訪市の脱炭素政策

諏訪市では、第三次諏訪市環境基本計画、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、ゼロカーボンシティ宣言に基づき、地球温暖化対策及び再生可能エネルギー導入等の施策を進めています。リユース可能なマイボトルの利用を拡大することは、循環型のまちづくりに寄与するだけでなく、温室効果ガスの排出を抑制し、ゼロカーボンシティの実現にもつながります。

当社は、同市との協定締結の下、マイボトルに給水できるウォータースタンドを設置し、意識浸透と行動変容との両面で持続可能な社会の実現に向け協働して参ります。同時に、当社のこれまでの知見を活用し未来の世代を含めて地域と一体で社会課題解決に寄与して参ります。

■ウォータースタンドについて

水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さ、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取り組む法人、大学などに支持されています。

・当社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取組み

当社は使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、諏訪市を含め全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。当社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセス

できる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。本活動を通じて、使い捨てプラスチック削減・CO2 排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害・健康増進による気候変動への適応の両立を実現します。この取組への協力を様々な組織・団体等に呼びかけながら、同様の取組を日本全国に拡大していきます。

・ 当社の取組みの事例掲載・受賞一覧

- ・ 脱炭素チャレンジカップ 2022 「オルタナ最優秀ストーリー賞」
- ・ 令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・ 2021年度日本子育て支援大賞
- ・ 農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード 2020 伝えたい日本の"サステナブル" サステナアワードルーキー賞
- ・ 経済産業省関東経済産業局 中小企業の SDGs 取組事例
- ・ 国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

■ 自治体との協定締結実績一覧

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2019年 6月	さいたま市 (埼玉県)	2021年 4月	吹田市 (大阪府)	2022年 3月	白岡市 (埼玉県)	2022年 7月	鈴田市 (茨城県)
2019年 9月	蕨山町 (神奈川県)	2021年 6月	亀岡市・亀岡市教育委員会 (京都府)	2022年 3月	川崎市 (福岡県)	2022年 7月	佐倉市 (千葉県)
2019年 11月	所沢市 (埼玉県)	2021年 6月	渋谷区 (東京都)	2022年 3月	多摩市 (東京都)		
2020年 1月	京都市 (京都府)	2021年 6月	泉大津市 (大阪府)	2022年 3月	神崎町 (千葉県)		
2020年 2月	鎌倉市 (神奈川県)	2021年 7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)	2022年 4月	熊取町 (大阪府)		
2020年10月	世田谷区 (東京都)	2021年 8月	日野町 (滋賀県)	2022年 4月	明和町 (三重県)		
2021年 1月	羅林市 (群馬県)	2021年 8月	上尾市 (埼玉県)	2022年 5月	上野村 (群馬)		
2021年 1月	小田原市 (神奈川県)	2021年 9月	島津町 (大阪府)	2022年 5月	町田市 (東京都)		
2021年 3月	川崎市 (神奈川県)	2021年11月	藤岡市 (群馬県)	2022年 5月	浜松市 (静岡県)		
2021年 3月	藤沢市 (神奈川県)	2021年11月	岡山市 (岡山県)	2022年 5月	二宮町 (神奈川県)		
2021年 4月	志摩市 (三重県)	2021年12月	蓮方市 (福岡県)	2022年 5月	山梨市 (山梨県)		
2021年 4月	春日部市 (埼玉県)	2022年 1月	杉並区 (東京都)	2022年 6月	田川市 (福岡県)		
2021年 4月	西宮市 (兵庫県)	2022年 1月	丹波郡山市 (兵庫県)	2022年 6月	日野市 (東京都)		
2021年 4月	尼崎市 (兵庫県)	2022年 3月	砂町市 (新潟県)	2022年 6月	横濱市 (神奈川県)		

※ 2022年4月完了

令和4年7月31日時点

【ウォータースタンド株式会社 概要】

代表取締役社長：本多 均 (ほんだ ひとし)
 本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-463 (全国 66 拠点 2022 年 9 月末)
 設立：1969 年 3 月 資本金：5,000 万円
 事業内容：水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」・空気清浄機レンタル

【問合せ先】

ESG 推進室 担当：小野 (おの)
 TEL：048-657-6731
 e-Mail：pr@waterstand.co.jp
 コーポレートサイト <https://waterstand.co.jp/>
 サービスサイト <https://waterstand.jp/>